

2026 年度入試の出題傾向

○学校推薦型選抜 公募制

小論文

課題文を基に出題する（1題）。理解力、論理性、表現力、記述力、独創性を問う。

○一般選抜 前期日程

国語(国語総合、古文・漢文除く)

現代文 2 題。問題形式は選択式を中心に記述式も含まれる。いずれも基礎的な国語力を問う。記述式は文の大意を読み取り、的確に表現する力を問う。漢字書き取り・漢字の読みが 20%程度。漢字の問題は難解ではないが、正確に楷書で書くことが求められる。

英語(英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング、ライティング)

構成：選択式（会話応答問題、文法・語彙問題、読解問題）および記述式（英作文）。会話応答問題は日常的なやり取りの理解を、文法・語彙問題は基礎的な知識を、読解問題は多様な種類の英文の内容理解を問う。英作文では状況に応じた適切な思考力・判断力・表現力を問う。いずれも基礎的な英語力を問うものである。

数学(数学Ⅰ・数学A)

数学Ⅰと数学Aの範囲で、偏りのないよう出題する。高等学校での授業の内容をきちんと理解し、苦手分野を作らず勉強しておけば解ける問題である。記述式問題では部分点も考慮するので、数学的なポイントを押さえたうえで飛躍せずに答案を書くことが求められる。

生物(生物基礎、生物)

ヒトや動物に関する内容に限定せず、生物基礎、生物の全体から偏りのないよう出題する。問題形式は選択式、空欄補充、記述式等となり、基本的な知識、理解力を問う。

○一般選抜 後期日程

小論文

課題文を基に出題する（1題）。理解力、論理性、表現力、記述力、独創性を問う。

○特別選抜（社会人Ⅰ期・Ⅱ期）

小論文

課題文を基に出題する（1題）。理解力、論理性、表現力、記述力、独創性を問う。